

CUPC 8.x : CUCM 8.5 でビデオ コールを確立できない

Document ID: 113263

Updated: 2011 年 9 月 29 日



[PDF のダウンロード](#)



[印刷](#)

[フィードバック](#)

関連製品

- [Cisco Unified Presence バージョン 8.0](#)
- [Cisco Unified Communications Manager バージョン 8.5](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator](#)

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

Windows Vista 32 ビットでは、Cisco Unified Personal Communicator (CUPC) 8.5.1 は、両端でビデオの起動に失敗します。CUPC でソフトフォン モードを使用すると、カメラと [Place a video call (ビデオ通話の発信)] オプションを使用できますが、両端ではビデオを見ることはできません。このドキュメントでは、この問題を解決する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CUPC 8.x
- Cisco Unified Presence Server 8.x
- Cisco Unified Communications Manager (CUCM) 8.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

インポートがビデオ コール オプション利用できるのに、CUPC 8.5.1 はどちらかの端のビデオを見ません。問題は CUPC 8.5 が softphone モードのビデオ コールを (1 対 1) 作れないことです。具体的には、両側はビデオ カメラを検出する、「インポート ビデオ コール」はオプション利用でき、コールは行きますが、ビデオはどういうわけか出て来ません。

解決策

アーリー メディア (early media) が接続前に SIP エンドポイントに提供される必要があるとき CUCM は SDP の 183 のセッション処理 メッセージを常に送信します。CUCM は SDP の 180 警告 メッセージを生成しないが、1 つを受け取るとき SDP の 180 警告 メッセージをサポートします。この問題はクライアントが機能を送信した後でさえもそれ、CUCM ビデオのための SDP 非アクティブのセッション処理 メッセージを送信 するかもしれません。

最初の機能が CUCM に送信された後、どのパラメータが使用され、ネゴシエートされたパラメータかの両端への SIP への送出決定する CUCM まであります。これを確認し、これらのステップを完了し、ログを奪取 するため:

1. Cisco Unified Communications Manager ログがすべてのサーバがあるように確認されるすべてのチェックボックスの詳しいの/デバッグ レベルに設定 されることを確かめて下さい。(低いトラフィック時間の間にデバッグを実行したいと思う場合もあります。)
2. 両側からの CUPC から終了して下さい。
3. CUCM パブリッシャへの SSH は、型 **show status**、時間を書き留め。
4. また、CUPC がインストールされている両方のワークステーションからの現地時間を書き留めて下さい。
5. 両方のワークステーション (www.wireshark.org) で Wireshark を インストールして下さい。
6. 両方の適切なインターフェイスの Wireshark をワークステーション開始して下さい。
7. 両方のワークステーションの CUPC を開始して下さい。
8. ビデオ コールを開始して下さい。
9. ビデオ コールを停止し、この情報を収集して下さい:すべてのための CUCM ログは (パブリッシャ および サブスクライバ) または従って断絶しま最後の 5 分の間カバーしますテスト

(それは非常に詳しいレベルでログを持つインポートはです)を両方のワークステーションからの Wireshark キャプチャ両側からの CUPC 問題レポート両側の USERID、また呼出すことおよび呼出された DNステップ 3 および 4 で注意したコールの時ワークステーションおよび CUCM サーバの IP

10. 見つけられる問題のログの要約はここにあります:15379 : m=video 0 RTP/AVP 31 34 96 97

15380 : c=IN IP4 0.0.0.0

15381 : a=rtpmap:31 H261/90000

15382 : a=fmtp:31 MAXBR=224

15383 : a=rtpmap:34 H263/90000

15384 : a=fmtp:34 MAXBR=225

15385 : a=rtpmap:96 H263-1998/90000

15386 : a=rtpmap:97 H264/90000

15387 : a=inactive

ログから、ビデオが使用するべきではないことが CUCM 送信わかります。この問題を解決するために、CSFS 電話のデバイス プールが見つけられる CUCM 領域の 2k にビットレートを下げて下さい。

[関連情報](#)

- [CUPC 7.0 のクラッシュのトラブルシューティング](#)
- [トラブルシューティング Cisco Unified Personal Communicator](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ([シスコ サービス契約< ts generic='1' nval='P%1,2%%'が必要ですよ](#))。

Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2011 年 9 月 29 日

Document ID: 113263